地域創生科目

長野県南木曽町

8月22日～8月27日

テーマは

旅人と南木曽町を繋ぐもの

今回の研修の私たちのテーマは“旅人と南木曽町をつなぐもの”です。観光客を旅人と考え、この南木曽町はどのように関わっているのかを調べました。

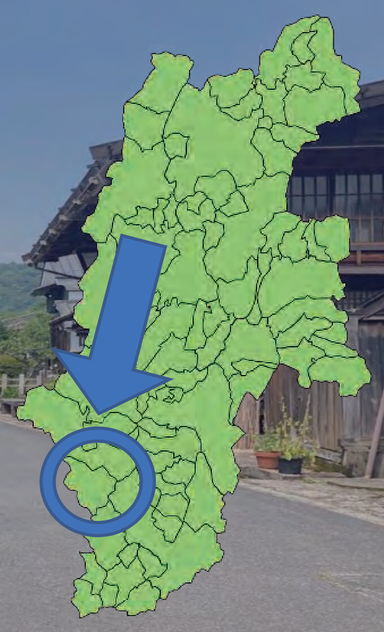
詳細

所在地：長野県木曽郡南木曽町

面積：215.93㎢

人口：４０００人弱

特徴：面積の９４％が森林、木工細工が有名南木曽町の中でも中山道の一部である妻籠という宿場町が観光地と有名である。妻籠を愛する会の方々を中心として 50 年以上街並みが保存し続けられている。また、地域おこし協力隊として南木曽に移住する方もいる。また、近年外国人観光客が増加。



現状

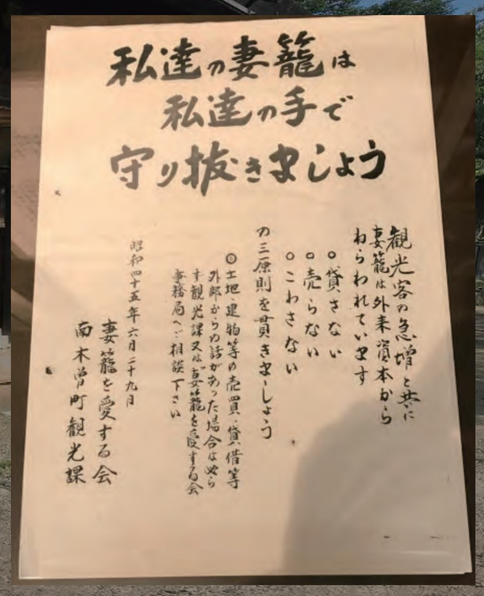
・少子高齢化＋都市部に移住する人々が多い

・住民憲章で「売らない」「貸さない」「壊さない」と決められており、妻籠宿内でのルールが厳しい

（空き家の購入・賃貸など）

・住民の警戒心が強い

・南木曽町全体の経済サイクルができていない



アンケート調査

・私たちは、観光客の人達にアンケート調査を行いました。

・場所は、妻籠宿内と中山道にある一石栃立場茶屋でした。

・様々な国の観光客に対応できるように日本語、英語、スペイン語の三言語でアンケートを実施しました。

アンケート結果

・南木曽全体ではなく、馬籠宿から妻籠宿の区間でしかお金が落ちない

・妻籠宿は知っているが、南木曾を知らない

・ガイドブックでなく、インターネットを利用する観光客が多い。

・宿泊はするが、宿泊先が馬籠宿であることが多い。

・地元の方との会話が道案内であることが多く、案内板の必要性を感じた。

来年の研修生に受け継ぐこと

・南木曽町 7 地区全てを見て回ること。

・南木曽町の妻籠宿以外の魅力拠点が分かる地図をつくること。

・積極的に住民の話を聞くこと。

・アンケートで南木曽のマイナス面も聞くこと。

今回の研修から見つかった課題

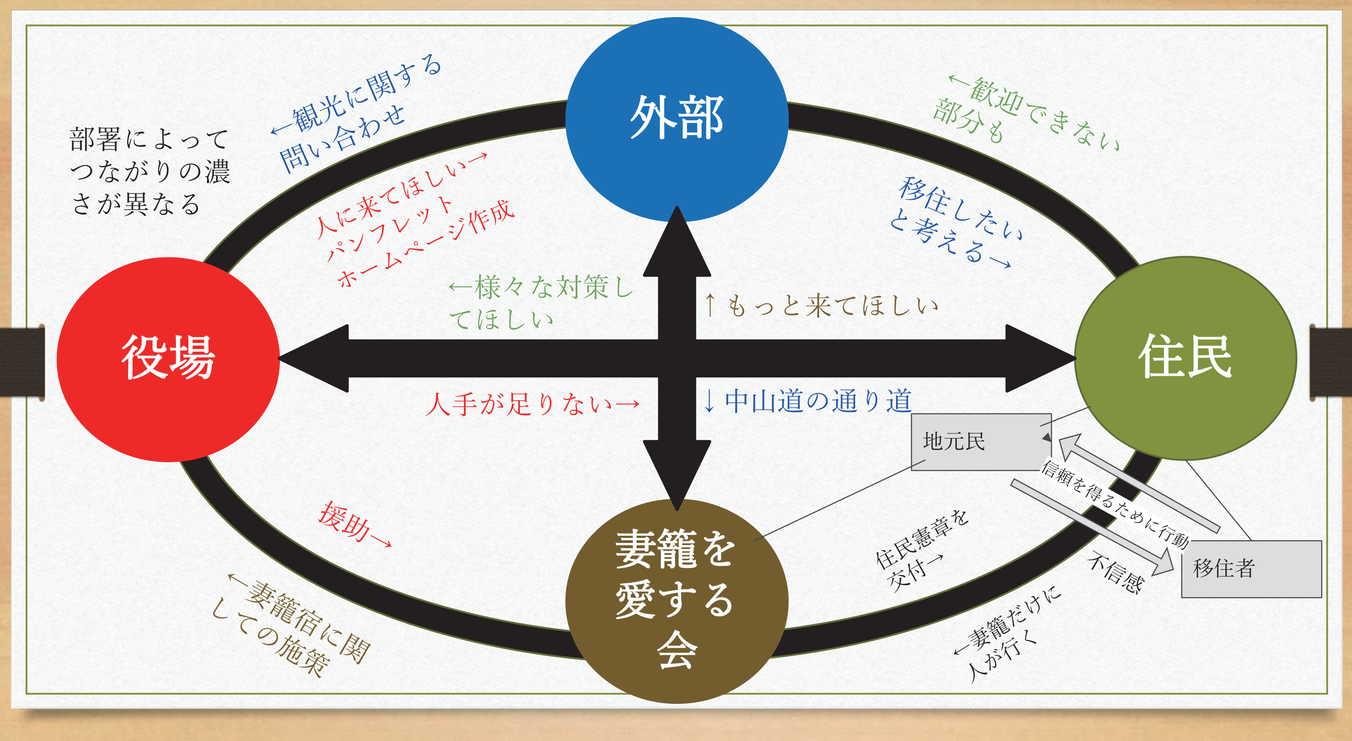
・変えるべきもの、変えないべきものの考えがそれぞれ違う。（移住者や空き家についてなど）

・世代やルーツを超えた住民同士が意見交換する機会が少ない。

・南木曽町をどうにかしたい気持ちは住民は、一緒。

しかし、方向性はみんな違う。

・お金を使う先が中津川といった栄えた町。



まとめ

今回の研修から、南木曽町には外部（観光客など）、住民（地元の人、移住者）、役場、妻籠を愛する会の４つのグループに分かれると私たちは考えます。これらの関係性は右図を見てもらうとわかるように、それぞれの思いが交差しております。例えば、移住者の方々は地元住民から不信感を抱かれることも少なくありません。そのため、信頼を得るために積極的に市民活動に参加するなど、信頼を得るための行動をしています。こういったように、南木曽町では人と人との繋がりがとても深いと感じます。私たちもこの研修を通じて、地域の抱える問題と、人と人との関りがとても密接に関わっていることが分かりました。

研修者名：今村ちひろ　田場小裕二　田畑志織　塚田那奈　担当教授：吉富志津代